

田口杏村 かぎらうそん 僧侶。明治十一年五月十七日茨城県新治郡田村生れ、
昭和四十年二月二十一日歿（八七九—一九六五）。本名聖炯。明治二十二年
雨引村樂法寺にて剃髮。翌年十八道修行。その後祇園寺を出て小説
家を中心し、廣津柳浪に入門。また東京及び地方の新聞雜誌に關與する
ほど文筆生活二十餘年のうち、大正五年埼玉縣秩父の西福寺住職、七
年には東京江戸川の勝曼寺住職と僧院生活に入り、昭和二十八年權大
僧正となつた。この間、かえ還暦記念の自敘傳『松風紳紙』刊行。

歿後、明治末年雜誌『妙智カ』掲載の舊稿『日本文学に現われたる觀
世音』（昭和四十二年十月十日鹿野苑）出版。

